

落札者決定基準

(一般競争入札)

公立大学法人福岡県立大学

教務システム等更新に係る詳細設計・開発等業務委託事業

公立大学法人福岡県立大学

落札者決定基準

公立大学法人福岡県立大学が発注する「公立大学法人福岡県立大学教務システム等更新に係る詳細設計・開発等業務委託事業」の契約に関し、大学の主要業務である入試・学籍管理・履修管理・成績管理等の各業務に精通し、教務システムの開発・保守業務に実績があることが不可欠である。このため、落札者の決定に当たっては、価格及びその他の条件（性能、機能、技術等）によって落札者を決定する一般競争入札方式を採用する。

本入札における落札者決定基準は、要求仕様書等の内容について入札参加者から提出された提案書を客観的に評価する際の基準を示すものである。

1 一般競争入札

本入札の審査方法は、次のとおりである。

(1) 資格審査

入札説明書に示す資格審査要件を確認する。参加資格要件に不備があれば失格とする。

(2) 基礎審査

予定価格は構築費のみで設定する。入札書類に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを確認する。入札価格が予定価格を超えている場合は失格とする。提案書に記載された内容が、この落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしているかどうかについて先ず確認する。

(3) 総合評価審査

提案書に記載された内容に対して、得点化基準に則り評価する。審査項目ごとに評価の理由を明らかにした上で採点し、本学総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。）の審査を経て、提案書の「技術評価点」を決定する。

次に、入札価格および運用保守価格から「価格評価点」を算出する。価格評価点と技術評価点の合計値である「総合評価点」を比較し、最も高い点数を得た入札参加者の提案を最優秀提案とする。

なお、総合評価点の最も高い入札参加者が2者以上あるときは、当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定する。この場合、当該者がくじを引かない場合は、当該入札事務に関係のない職員をして代わってくじを引かせることができる。

2 総合評価審査の方法

2-1 総合評価全体の考え

ア 総合評価は、入札価格および運用保守価格からなる「価格評価点」に、性能、機能、技術等の採点からなる技術評価点を加えた総合評価点をもって行う。

イ 技術評価点に900点、入札価格点に300点を配分し、総合評価点の満点を1200点とする。

提案書の得点が総合評価の「基礎点」の算定に使われるため、得点化基準については、本学が教務システムに期待する事項の重要性等を勘案して設定している。

2-2 価格点の算定

価格点はそれぞれ以下の計算式で算出する。

価格点の配点は、入札価格が 200 点、運用保守価格が 100 点とする。

ア 入札価格の得点は、以下の計算式で算出する。

入札価格の得点 =

$$\text{最高点} \times (\text{入札予定価格} - \text{入札価格}) / (\text{入札予定価格} - \text{予め設定する基準価格})$$

イ 運用保守価格の得点は、以下の計算式で算出する。

運用保守価格の得点 =

$$\text{最高点} \times (\text{入札予定価格} - \text{入札価格}) / (\text{入札予定価格} - \text{予め設定する基準価格})$$

2-3 技術評価点の算定

技術評価点は、基礎点 600 点、加算点 300 点の合計 900 点からなるものとする。

技術評価点の各項目に対する配点は表 1 のとおり。

ア 技術評価点基礎点について別添資料「機能要件確認書」の記載内容に基づき、採点を行う。

イ 技術評価点加算点について別添資料「機能要件確認書」および提案書の記載内容を確認し特に本学に資すると判断した機能について加算点を付与する。

表 1 技術評価点の配点表

項目名	基礎点 配点	加算点 配点
基本要件および運用保守	100	50
入試システム	75	25
教務システム	150	100
ポータルシステム	100	50
LMS	100	50
証明書発行システム	75	25
合計	600	300